

# 第6学年 国語科学習指導案

日時 令和6年10月7日(月)5校時

対象 6年1組33名

授業者 佐藤 麻野

## < 研究主題 >

目的に応じて読みを深め、自分の考えを表現できる児童の育成  
～説明的文章の学習を通して～

1 単元名 読み手を引き付ける「表現の工夫」を読み、筆者になりきって『鳥獣戯画』の簡単な解説文を書いて伝えよう

教材名『鳥獣戯画』を読む(光村図書)

「谷川で水遊びをする兎、猿、鹿(鳥獣人物戯画・甲巻 頭巻:第1紙-第4紙前半)」  
(部分) 「A:崖の上から鼻をつまんで飛び込む兎」、「B:鹿に乗る兎と水をかける猿」

## 2 単元の目標

- (1) 比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。 [知識及び技能](1)ク
- (2) 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。 [思考力・表現力・判断力等]C(1)ウ
- (3) 文章と図表などを結び付けて必要な情報を読み取ることに粘り強く取り組み、解説文を書こうとしている。 [学びに向かう力、人間性等]

## 3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 比喩や反復などの表現の工夫に気づいている。(1)ク	① 「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。(C(1)ウ)	① 文章と図表などを結び付けて進んで読み、学んだことや筆者の表現の工夫を生かして簡単な解説文を書こうとしている。

## 4 単元について

### (1) 学習指導要領との関連

本単元は、小学校学習指導要領(平成29年告示)国語編第5学年及び第6学年に記載されている次のことを扱っている。【学習指導要領から抜粋】

#### [知識及び技能]

(1)ク 比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。

#### [思考力、判断力、表現力等]C 読むこと

(1)ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。

## ( 2 ) 教材について

本教材「『鳥獣戯画』を読む」は、12世紀につくられた絵巻物『鳥獣人物戯画』の一場面を解説した説明的文章である。筆者の高畑勲さんは、この教材において、あえて絵巻物を切り離して場面ごとに提示する他、書き出しや会話文、体言止め、呼びかけなど、読み手を引き付けるような工夫を多く散りばめている。本教材では、実際の絵と文章を結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、読み手を引き付けるための筆者の独特な表現や論の進め方、表現の工夫について捉えたりすることができる。7段落の「今度は君たちが考える番だ。」を受けて、「三匹の応援蛙」や鳥獣人物戯画の一場面についての簡単な解説文を筆者の効果的な表現の工夫を生かしながら、自分なりの見方・考え方をもち、進んで表現することにつなげたい。

## ( 3 ) 児童の実態

4月に実施した「国語科の学習に関する意識調査」の結果は以下のとおりである。

【実施日：令和6年4月16日 対象児童：葛飾区立清和小学校第6学年児童 33名】

	質問	好き	どちらかと言えば好き	どちらかと言えば嫌い	嫌い
①	国語科の学習は好きですか。	24%	49%	22%	5%
	【好きな理由】・面白い物語や感動する物語があるから。・登場人物の気持ちを考えるのが楽しい。 【嫌いな理由】・文章問題が苦手だから。・漢字を暗記するのが苦手。				
②	説明文の学習は好きですか。	25%	40%	27%	8%
	【好きな理由】・人に説明すると自分もよりわかる。・新しい知識を身につけられるから。 【嫌いな理由】・文がたくさんあって難しい。・説明するのが苦手だから。				
③	物語文の学習は好きですか。	46%	40%	9%	5%
	【好きな理由】・主人公や登場人物の気持ちを想像するのが楽しいから。・色々な結末があるから。 ・読むのが楽しいし、語彙力が高くなる。 【嫌いな理由】・物語文を読むのが難しい。				
	意味の分からない言葉があったときに、意味を調べていますか。	47%	32%	12%	9%

④	【調べている理由】 ・どのような意味をもっている熟語や漢字なのかを調べると知識が高まるから。 【調べていない理由】 ・苦手だから。				
⑤	音読は好きですか。	35%	37%	17%	11%
	【好きな理由】 ・より登場人物の気持ちが分かるから。 ・声で表現することが楽しい。 【嫌いな理由】 ・声に出して読むことが恥ずかしいし、目で読みたいから。				
⑥	本を読むことは好きですか。	51%	34%	13%	2%
	【好きな理由】 ・わくわくするから。 ・ミステリー小説など考察しながら読むのが好き。 【嫌いな理由】 ・長い文章を読むのが苦手だから。 ・飽き性だから。				
⑦	思ったことや考えたことを書くことは好きですか。	31%	42%	22%	5%
	【好きな理由】 ・言葉に出さないことも、文だと書きやすいから。 ・全て書くと達成感がある。 ・人に自分の思いや考えを伝えられるから。 【嫌いな理由】 ・書くことが苦手だから。 ・言葉では話せるが、文章にどうやって表せばいいのか分からないから。 ・書いたり消したりすることが大変で疲れるから。 ・面倒くさい。				
⑧	自分の考えをペアやトリオに伝えることは好きですか。	42%	38%	14%	6%
	【好きな理由】 ・色々な考えが知れるから。 ・自分の考えと比べて聞くことができるから。 【嫌いな理由】 ・自分の考えが間違っているかもしれないから。 ・人に伝えるよさを感じない。				
⑨	自分の考えを学級全体の前で伝えることは好きですか。	24%	25%	32%	19%
	【好きな理由】 ・自分の考えを伝えたいから。 ・みんなに聞いてもらおうと嬉しいから。 【嫌いな理由】 ・恥ずかしいから。 ・緊張するから。				

### 【これまでの学習から】

説明的文章を扱う単元は、6年生の1学期の「イースター島にはなぜ森林がないのか」の学習において、事実や事例、原因と結果を整理しながら筆者の論の進め方について学習した。ここで学んだ論の進め方を自分の意見文の構成に生かすようにした。また、「インターネットの投稿を読み比べよう」の学習では、複数の投稿を読み比べて、説得の工夫を考え、自分の意見文に説得力をもたせるための材料として活用した。本単元の学習では、簡単な解説文を書くために、絵と文を関連付けたり、絵から読み取った情報を筆者の表現の工夫を生かしたりしながら書くことで、表現の工夫の効果について捉えられるようにする。

### 【意識調査から】

「物語文の学習は好きですか。」の質問に対して、86%の児童が好きと答えている。一方で、「国語科の学習は好きですか。」「説明文の学習は好きですか。」の質問に対しては約30%の児童が否定的な回答をしている。また、「思ったことや考えたことを書くのは好きですか。」の質問にも同じく約30%の児童が否定的な回答をしている。理由から、長い文章を読むことや書くことを難しく感じ、語彙の少なさや書きたいことを表現することに難しさを感じていることが分かる。図表と文を具体的に結び付けながら、読むこと自体が面白い、表現の仕方が面白い、筆者の表現の工夫を使って自分もこのような解説文を書いてみたい、と感じることができるような手立てが必要である。

## 5 研究主題に迫るための手だて

### (1) 目的に応じて読みを深めるための手だて

### ①教材との出合わせ方の工夫

単元の導入部分において、「『鳥獣戯画』を読む」の1枚目の絵を使って、事実を読み、自分の考えや感想を簡単に書き、児童が最近関心をもっている生成AIを使って作成した解説文を用意する。それらと高畑勲さんの書いた文と比べてみる。児童が感じたことを中心に何がすごいのか分析的に読み、言葉を使って表現する楽しさや「自分たちも書いてみたい。」という意欲をもたせる。

### ②ラーニング・マウンテンの活用

児童が学びの全体を俯瞰的に捉え、目的意識や見通しをもって学ぶことができるように、ラーニン

グ・マウンテンを活用する。単元の導入部分で、これまで身に付けた力やさらに身に付けたい力を意識させ、「『鳥獣戯画』を読む」の本文から面白さ・問い（文章構成に関するもの、表現に関するもの）

（①「見る」ではなく、なぜ「読む」のか。②他にどんな表現の工夫があるのか。③なぜ「部分」→「部分」→「全体」なのか。など）から、単元のゴールである「筆者の表現の工夫」を使い、三匹の応援蛙や鳥獣人物戯画の簡単な解説文を書くための学びの手順を子供たちに話し合わせることで、主体的な学びの実現につなげる。

### ③「デジタルシート」と「全文シート」の活用

筆者の論の展開や絵の示し方の効果を捉えられるよう、教材文をあえて1枚ずつに表した教材文のデジタルシート」を用意しオクリンクプラスでシートをつなげていけるようにする。また、「全文シート」を用意し、デジタルと紙媒体の全文シートは児童が選択できるようにする。どちらも、絵と文章を関連付けたり、表現の工夫を叙述から読み、書き加えたりする。また、本時では上段に絵、下段に解説文を書き入れることのできる「デジタルシート」を活用することで自分の作成した文章の加除訂正や論の組み換えをしやすくする。

### ④「一人読み」⇒「書く」⇒「交流する」⇒「再構築する」の流れ

教材文を読んで、絵と文章を関連付け、表現の工夫を叙述から見付け、自分の考えを書き出し、友達と交流する中で比較し、自分の表現に生かす。このような流れの中で確かな読みの力を高めさせる。

### ⑤高畑勲さんの「ここがすごい！（読み手を引き付ける『表現の工夫』）仮」の活用

「三匹の応援蛙（教科書挿絵2枚目）」「谷川で水遊びをする兎、猿、鹿（鳥獣人物戯画：第1紙・第4紙前半）」の簡単な解説文を書くために、筆者の表現の工夫を読み、まとめていく。また「表現の工夫」と「それによりどんな効果が得られるのか」もあわせて捉えられるようにする。

## (2) 自分の考えを表現するための手だて

### ①「オクリンクプラス」の活用

絵と本文を関連付け、「三匹の応援蛙」などの解説文、その他2枚の絵を扱い、「筆者の表現の工夫」を生かして、①絵を見てのストーリー・背景、②絵の描き方や事実、絵の説明、③意見や感想、評価の観点を提示し、簡単な解説文を絵と照らし合わせて書けるようにする。また、3つの観点の構成も、自分の考えのもとで簡単に入れ替えることができるようにする。

## ②協働的な学びの場の設定

自分の読みをオクリンクプラスの広場で共有し、自分の読みや考えと友達の読みや考えとを比較しながら、自分の読みに生かしていく。本教材については、一人読み、交流、自分の読みの再構築で進める。また、「三匹の応援蛙」で蛙のポーズや表情について読んだ後、次時では「A：崖の上から鼻をつまんで飛び込む兎」「B：鹿に乗る兎と水をかける猿」を同じ絵を選んだ者同士、そして違う絵を選んだ者同士で交流し、自分に生かしていけるようにする。

## ③表現・実践する場の設定

単元の学習ゴールでは、学習の成果を表現・実践する場を設ける。その中で、児童が互いのよさを認め合い、説明文を読むこと、『鳥獣戯画』を読むこと、自分の考えを表現すること、書くことが楽しい、面白いと感じられるようにする。課外の著名な画家の作品の「6-1勝手に解説文！世界の名画の魅力伝えよう（仮）」においては、班で1枚の絵画を選び、学んだことを生かして簡単な解説文を班で作成する。本教材で学んだ「表現の工夫」を生かして、展覧会で下級生にも絵画に親しみ楽しんでもらうという目的意識・相手意識をもって取り組めるようにする。

## ④「筆者の表現の工夫」を生かして、簡単な解説文を書く

7段落を受けて、絵と本文を関連付け、「三匹の応援蛙」の解説文を書く際に「筆者の表現の工夫」を生かして、蛙のポーズと表情を読み、それぞれの気分について②絵の描き方や事実、絵の説明、③意見や感想、評価の観点を提示して書く。それを生かして、次時では「A：崖の上から鼻をつまんで飛び込む兎」「B：鹿に乗る兎と水をかける猿」を選択させ、①絵を見てのストーリーや背景、②絵の描き方や事実、絵の説明、③意見や感想、評価の観点を提示し、簡単な構成を意識させながら、簡単な解説文を絵と照らし合わせて書けるようにする。その際、3つの観点の構成も、自分の考えのもとで入れ替えてよいこととする。

6 学習指導計画・評価計画（8時間扱い）

次	時	学習内容・活動	指導上の留意点	◇評価（方法）
1	1 ・ 2	<p>○これまでの説明文の学習で身に付けた力をふり返る。</p> <p>○「『鳥獣戯画』を読む」の1枚目の絵だけを示し、簡単な解説文を書く。（オクリンクプラス・ワーク①）</p> <p>○生成 AI が作成した解説文や①～③の本文と比べ、感想を交流する。</p> <p>○題名読みを行う。</p> <p>○全文を読みながら、形式段落と「高畑勲さんのココがすごい！」について感想や問いを共有する。</p> <div data-bbox="295 1547 710 1720" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>問い（文章構成に関するもの、表現に関するもの）①「見る」ではなく、なぜ「読む」のか。②他にどんな表現の工夫があるのか。③なぜ「部分」→「部分」→「全体」なのか。など</p> </div> <p>○今回の単元でどんなことを学び、どんな力を付けたいかを考え、学習計画を「ラーニング・マウンテン」に表す。</p> <div data-bbox="284 1928 1445 1995" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>筆者の「表現の工夫」をとらえて読み、簡単な解説文を書く学習計画を立てよう。</p> </div>	<p>・1枚目の絵だけの入ったシートを配り、簡単な解説文を書かせる。</p> <div data-bbox="751 1010 1193 1059" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>観点：絵から分かる事実+感想や評価</p> </div> <p>・1枚目の絵と本文①～③の入ったのみのデジタルシートを配る。</p> <p>・デジタルシートと紙媒体の全文シートを配る。</p> <p>・児童の感想で出た「面白い」「凄い」がどこからくるのかを意識させ、サイドラインを引かせながら読むよう指示する。</p> <p>・「A:崖の上から鼻をつまんで飛び込む兎」「B:鹿に乗る兎と水をかける猿」の部分絵を提示し児童に選択させる。</p>	<p>◇主—① （記述分析、発言分析）</p>

2	3	<p>○形式段落を確認しながら全文を読み、全体の大まかな構成と内容を整理し、論の進め方について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「部分→部分→全体」という示し方にはどのような効果があるのかについて考えさせる。</li> </ul>	<p>◇思・判・表—① (記述分析、発言分析)</p>
---	---	---	---	---------------------------------

2	4	<p>絵と文章を結び付け、筆者の「表現の工夫」について読もう。</p>		
		<p>○文章と1枚目の絵を関連付けながら、「表現の工夫・効果」について読む。</p> <div data-bbox="280 1742 730 1841" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「会話」「体言止め」「省略」「体言止め」「比喩」「呼びかけ」</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①絵を見てのストーリー・背景(赤)、②絵の描き方や事実、意見(青)、③『鳥獣戯画』の説明・感想(緑)の線で結び付けるよう指示する。</li> </ul>	<p>◇知—① (記述分析、発言分析)</p>
	5	<p>○文章と2・3枚目の絵を関連付けながら、「表現の工夫・効果」について読む。</p> <div data-bbox="264 2033 715 2087" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「話し言葉」「比較」「問いかけ」</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「評価を表す言葉」について、気付かせる。</li> </ul> <div data-bbox="783 1980 1166 2175" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「見事に～」「たいしたものだ」「のびのびと見事な筆運び、その気品(1枚目の絵)」「実にすばらしい(3枚目の絵)」</p> </div>	

	6 公開授業	<p style="text-align: center;">「三匹の応援蛙」のポーズと表情を読み、「筆者の表現の工夫」を生かして、絵の魅力を伝える簡単な解説文を書こう</p> <p>○7段落を受けて、「筆者の表現の工夫」を生かし、「三匹の応援蛙」のポーズと表情から、それぞれどんな気分を表現しているのか簡単な解説文を書く。</p> <p>○ペアで交流し、友達の書きぶりのよさや感想を伝える。</p> <p>○自分の解説文の加筆や修正を行う。</p> <p>○振り返りを行う。</p>	<p>・解説文を書く観点を示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・絵の描き方や事実、絵の説明 ・意見や感想、評価</p> </div> <p>・聞き手は、「三匹の応援蛙の魅力が伝わる」と思った個所について、よさや感想を伝えるよう確認する。</p> <p>・友達から受けた感想や、加筆・修正したい個所をメモに記述させるよう指示する。</p> <p>・自分や友達のよいところや次時の交流で生かしていきたいことを振り返らせる。</p>	<p>◇主—① (記述分析、発言分析)</p>
3	7 本時 事前	<p>○「三匹の応援蛙」の解説文の学習や学んだことを生かして、「A:崖の上から鼻をつまんで飛び込む兎」「B:鹿に乗る兎と水をかける猿」について、簡単な解説文を書く。</p> <p>目標：目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。</p> <p>1 前時を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <p>2 「A：崖の上から鼻をつまんで飛び込む兎」「B:鹿に乗る兎と水をかける猿」の①同じ絵を選んだべ</p>	<p>・解説文を書く観点</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>①絵を見てのストーリー・背景 (赤) ②絵の描き方や事実、絵の説明 (青) ③意見や感想、評価 (緑)</p> </div> <p>・事前に書いた解説文をオクリンクプラスに提出させる。(公開はしない)</p> <p>・ラーニング・マウンテンと前時の振り返りを活用する。</p> <p>・事前に書いてきた解説文を確認させる。</p> <p>・聞き手は、「絵の魅力が伝わる」と思った個所について、よさや感想を伝えるよう確認する。</p>	<p>◇思・判・表—① (記述分析、発言分析)</p>
		<p>読み手を引き付ける「表現の工夫」を生かして、『鳥獣戯画』の魅力を書いて伝えよう</p>		



	<p>ア、②違う絵を選んだペアで交流し、友達の書きぶりのよさや感想を伝える。</p> <p>3 自分の解説文の加筆や修正、構成の入れ替えなどを行う。</p> <p>4 振り返りを行う。</p> <p>8 ○題名について考える。（「鳥獣戯画」を「見る」のではなく、なぜ「読む」のか。） ○身に付けた力を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達から受けた感想や、加筆・修正したい個所をメモに記述させるよう指示する。</li> <li>・加筆・修正の意図、構成を入れ替えた意図などがあれば発言させる。</li> <li>・自分や友達の書きぶりのよいところや絵の魅力を伝えるために工夫したことなどについて振り返らせる。</li> <li>・これまでの学習を振り返って、話し合うようにさせる。</li> <li>・本単元で学習したことをラーニング・マウンテンと使用した資料を使って想起させる。</li> </ul>	
課外	<p style="text-align: center;">6-1 勝手に解説文！世界の名画の魅力を伝えよう（仮）</p> <p>○展覧会に校内の廊下に掲示する絵画を班で1枚選ぶ。 ○絵画や描いた人について調べ、オクリンクプラスで共有する。 ○本単元で学んだことを活用してオクリンクプラスで解説文を作成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図画工作の専科と相談して決めた4枚の絵画を用意しておく。（抽象画でなく、動物や人などが描かれているもの）</li> <li>・全8班（絵画4枚×2）で行う。</li> </ul>	

7 板書計画（第7時 / 全8時間扱い）

<div style="text-align: center;"> <p>全体</p> </div>	<p>めあて 読み手を引き付ける「表現の工夫」を生かして、『鳥獣戯画』の魅力を書いて伝えよう。</p> <p>「表現の工夫」 「会話」「体言止め」「省略」「体言止め」 「比喩」「呼びかけ」「話し言葉」「比較」 「問いかけ」</p>
--	---